

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	衛生学・公衆衛生学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	森川 賢一	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	衛生学・公衆衛生学が予防医学として発展してきた歴史や、個人の健康と公衆衛生が相互に関連しあっている仕組みと意義について学習する。	
到達目標	以下の説明ができることを目標とする。 健康の保持増進と生活、生活環境と公害、産業保健、精神保健、母子保健、生活習慣病、感染症、消毒法、疫学、保健統計	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	オリエンテーション 第1章 衛生学及び公衆衛生学の意義 第2章 健康の保持増進と生活 第3章 生活環境と公害(社会的環境因子と健康を除く) 期末試験 期末試験 講評	1 2 13 15 1
授業計画	後期計 (14週)	後期計 28時間
	第4章 産業保健 第5章 精神保健 第6章 母子保健 第7章 生活習慣病と老人保健(介護保険を除く) 第8章 感染症対策 第9章 消毒法 第10章 疫学 第11章 衛生統計と人口統計 期末試験 期末試験 講評	6 2 2 2 6 4 2 3 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	すべてを暗記しようとするとても大変な科目です。大事な箇所については授業中に強調します。自己学習の時間を取り、わからない箇所を自ら探し、質問ができるように努めることをおすすめします。	
使用教科書	疾病の成り立ちと予防Ⅰ(衛生学・公衆衛生学) 改訂10版 高橋昌巳・一幡良利 桜雲会 2025年	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学各論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	本科目は主に内科疾患を中心に疾患の概要・病態生理・成因・症状・検査・治療法について学習します。	
到達目標	①施術を行うために必要な疾病について体系的・系統的に理解することができる。②施術において適応及び禁忌の判断が適切にできるようになる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 48時間
	ガイダンス 第3章 循環器疾患 第4章 呼吸器疾患 第5章 消化器疾患 第6章 代謝・栄養疾患 第7章 内分泌疾患 総括的評価(中間試験・期末試験) 総括的評価の解答解説	1 13 10 12 4 6 2
授業計画	後期計 (14週)	後期計 42時間
	第8章 腎・泌尿器疾患 第9章 男性生殖器疾患 第10章 婦人科疾患 第11章 血液・造血器疾患 第12章 アレルギー・免疫異常 第13章 精神・心身医学的疾患 第14章 耳鼻咽喉科疾患 第15章 眼科疾患 第16章 皮膚科疾患 第17章 感染症 総括的評価(中間試験・期末試験) 総括的評価の解答解説	9 2 2 8 4 3 2 2 2 6 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	教科書を精読し内容の理解に努めてください。過去の国家試験問題をお渡ししますので自分のペースで解いてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論) 第5版 盲学校理療教科用図書編纂委員会 日本ライハウス 2022年	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	リハビリテーション医学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	石田 亮介	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要なリハビリテーション医学の基礎的知識を施術に応用する能力と態度を修得する授業です。	
到達目標	障害を適切に評価し、その評価に応じた治療・訓練が選択できる。あはき施術で遭遇することが多い疾患に対して応用と実践ができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	1 リハビリテーションの概要 2 障害の評価 3 リハビリテーション治療 4 基礎運動学 5 疾患別リハビリテーション (1) 脳血管障害 期末試験(筆記試験) 試験の解答解説	5 8 8 8 2 1
	後期計 (14週)	後期計 28時間
	5 疾患別リハビリテーション (1) 脳血管障害(つづき) (2) 脊髄損傷 (3) 脳性麻痺 (4) 切断 (5) 呼吸器疾患 (6) 骨・関節疾患 (7) 神経疾患 介助演習 国家試験対策 期末試験(筆記試験) 試験の解答解説	5 4 3 2 3 3 2 3 2 1
実務経験の有無 その活かし方	有	理学療法士
	理学療法士として病院勤務の経験を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけでなく、運動学的な意義を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。	
使用教科書	生活と疾病 I A (リハビリテーション医学概論編) ※小冊子付き 又は(増補版) 著者:太田淳一郎 東京ヘルパー協会 2019年 生活と疾病 I B (リハビリテーション医学基礎運動学編) 著者:福光英彦 東京ヘルパー協会 2013年	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	医療概論（社会保障制度及び職業倫理を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	現代の医療制度と社会保障制度及び職業倫理と医学史について基礎的知識を学びます。	
到達目標	「現代の医療」について理解し、説明することができる。 「社会保障制度」について各種の分類・説明することができる。 「医学史」について理解することができる。	
授業計画	前期計（16週）	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	現代の医学と医療	7
	社会保障制度	6
復習	1	
期末試験		
期末試験 講評	1	
後期計（14週）	後期計 14時間	
社会保障制度	3	
医療倫理	6	
医学史、その他	2	
復習	2	
期末試験		
期末試験 講評	1	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期とも期末に筆記試験を行い、当該学期の評価とします。 理療教育実施細則24に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。（小数点以下は切り捨て）	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	医療と社会(改訂第8版) 田中千章 岡山ライトハウス 2022年	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学臨床論（あはきの適応の判断を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	5単位	
年間授業時数	150時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では、臨床で遭遇する代表的な疾患に対して症状及び所見から病態を把握し、疾患の鑑別及びあはき施術の適否の判断と効果的な治療方法について学習します。	
到達目標	各主要疾患に対し、必要な診察及び治療の適否を判断、患者への説明ができる。効果的な施術と施術後の評価を行うことができる。	
授業計画	前期計（16週）	前期計 80時間
	1. ガイダンス	1
	2. 治療論（総論、治療原則）	15
	3. 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療（肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛、上肢痛、腰下肢痛、膝痛、運動麻痺、頭痛、顔面痛、顔面麻痺、歯痛、眼精疲労、鼻閉、脱毛症、めまい、耳鳴り、咳嗽、喘息、胸痛、腹痛） （うち、あはきの適応の判断 15時間） *あはきの適応の判断	45
	4. スポーツ傷害の鑑別とあはきの適応の判断及び理療施術 （うち、あはきの適応の判断 4時間） *あはきの適応の判断	8
	5. 国試対策（演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む）	8
6. 総括的評価（中間試験・期末試験）		
7. 総括的評価の解答解説	3	
	後期計（14週）	後期計 70時間
8. 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療（悪心、便秘異常、月経異常、排尿障害、ED、高血圧症、低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹） （うち、あはきの適応の判断 10時間） *あはきの適応の判断	48	
9. 高齢者の疾患に対するあはきの適応の判断及び理療施術 （うち、あはきの適応の判断 3時間） *あはきの適応の判断	8	
10. 国試対策（演習問題の実施、模擬試験問題の分析を含む）	10	
11. 総括的評価（中間試験・期末試験）		
12. 総括的評価の解答解説	4	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験（評価）を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。形成的評価として、各単元の終了時に問題演習を行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの解剖学、臨床医学総論、経絡経穴概論、東洋医学概論、理療臨床医学各論の知識を必要としますので、各科目の復習をしてください。また、授業の復習による知識の定着とともに、臨床実習などでの活用を通して、治療技術の向上を期待します。	
使用教科書	配布資料	
参考書/参考資料	臨床理療学（あはき師用東洋医学臨症論）改定第2版 オリエンズ研究会 岡山ライトハウス 2023年	

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床診察学（生体観察を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な医療面接と生体観察を含む身体診察による臨床推論の実際について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力を習得します。	
到達目標	医療面接及び生体観察の知識と技術を理解し、説明・実践できる。	
授業計画	前期計 （16週）	前期計 16時間
	ガイダンス 施術録（カルテ） 問診（医療面接） 頸部の診察 肩関節の診察 肘関節の診察 期末試験 期末試験 講評	1 2 2 4 3 3 1
	後期計 （14週）	後期計 14時間
	手関節及び手指の診察 腰殿部の診察 股関節の診察 膝関節・下腿の診察 期末試験 期末試験 講評	3 4 2 4 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期とも期末に筆記試験を行い、当該学期の評価とします。 理療教育実施細則24に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。（小数点以下は切り捨て）	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	配布資料	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床取穴学 (生態観察含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	森川 賢一	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あはき師として必要な取穴法について生態観察と共に学習します。また鍼灸治療に必要な選穴法や配穴法について学習します。	
到達目標	経絡の走行に合わせた取穴法について理解する。治療法による選穴・配穴の概念、方法について理解する。施術を行う為に適切かつ効果的に行う能力と態度を習得する。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 16時間
	オリエンテーション	1
	取穴法の基礎 (取穴姿勢、取穴方向)	4
	選穴法、配穴法の基礎	2
正経治療 (経絡的治療)	8	
期末試験		
期末試験 講評	1	
	後期計 (14週)	後期計 14時間
奇経治療	2	
中医学的治療 (弁証論治)	4	
疾患別治療	7	
期末試験		
期末試験 講評	1	
実務経験の有無 その活かし方	有	あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師
	鍼灸整骨院や訪問鍼灸での臨床経験、また各種学会参加の経験に基づいて、基礎から臨床へ活かせる知識と理論を伝えていく。また体表観察を通して、実際の臨床風景をイメージした練習の動機付けとなるようにする。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	既に履修済みの解剖学、経絡経穴概論の知識を必要とする科目です。不足していると思う部分については復習してください。配穴法については国家試験では必ず出題される問題の一つです。ただ暗記するのではなく身体を使って学習しましょう。	
使用教科書		
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版16刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄ほか 医歯薬出版 2022年 新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版11刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 医道の日本社 2023年	

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	地域理療と理療経営	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な、地域社会における理療の役割、医療・福祉のあり方、理療の経営に必要な知識を学びます。	
到達目標	社会保障制度について説明することができる。 施術所の開設準備に必要な知識と経営スキルを身につけている。 超高齢社会における理療の意義と役割を理解することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	第1章 地域社会と理療	4
	第2章 少子高齢社会の現状と課題	7
	第3章 社会保障制度の体系	14
第4章 理療業務と社会保障制度	6	
総括的評価 (期末試験)		
総括的評価の解答解説	1	
	後期計 (14週)	後期計 28時間
第4章 理療業務と社会保険制度	3	
第5章 理療経営の基礎	6	
第6章 理療経営の展開	5	
第7章 理療と就労	3	
理療経営に必要な法的知識の確認	10	
総括的評価 (期末試験)		
総括的評価の解答解説	1	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	教科書を中心に進めます。 再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業に出てくる社会保障制度や社会保険制度は年度の途中で変わることもあります。テレビやラジオ、インターネットのニュースなどで情報に触れ、関心を持ってください。	
使用教科書	地域理療と理療経営 第5版 著者:藤井亮輔・福田勉 東京ヘンケラー協会 2023年	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧臨床実習	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師としての臨床に必要な知識と技能、リスク管理、臨床実習協力者への接遇等について学び、施術を安全かつ効果的に行う能力と態度を修得します。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧の施術において、適応および不適応の鑑別ができる。また、衛生管理およびリスク管理を徹底し、臨床実習協力者に対して安全な施術を提供することができる。さらに、医療面接・身体診察を通じて病態を把握し、自ら治療方針を立案したうえで、効果的な施術を実践することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 48時間
	オリエンテーション	3
	模擬臨床	3
	臨床実習協力者への施術 形成的評価	39 3
	後期計 (14週)	後期計 42時間
	臨床実習協力者への施術 形成的評価	39 3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期の学期末に「臨床実習評価ガイドライン」に従い評価を行います。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。各学期の中間期に施術技能を確認するための形成的評価を行います。単位習得の評価には含めません。	
履修上の留意点	日頃から頭髪や爪の手入れ等身だしなみに留意し、実習では清潔な白衣上下を着用してください。実習開始前までに衛生的手洗いを済ませ、ベッドにタオルシーツを敷く等準備をしておいてください。	
自己学習の進め方	実習の前日までに、担当する臨床実習協力者のカルテを確認し、施術の方針・内容について担当教官と打合せを行い、施術に必要な予習をしておいてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	鳥丸 大地・藤原 太樹	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	180時間	
授業の方法	実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	2年次までに習得してきた理療の知識・技術を応用して、医療面接や触診・徒手検査等により得られた情報から、はりきゅう施術の適応・不適応を判断する能力、適切な治療計画を立て、安全かつ効果的な施術を行う能力、施術や評価の結果をカルテに正確・明瞭に記録する能力、患者情報の守秘義務を遵守する人間性の獲得を目指します。	
到達目標	はりきゅう施術の適応・不適応を鑑別できる。 衛生管理、リスク管理を徹底し、安全な施術ができる。 医療面接→身体診察→病態把握→治療方針の立案までの流れを独力でいき、効果的な施術を実践することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 96時間
	①オリエンテーション	3
	②模擬臨床	9
	③臨床実習協力者への施術	78
	④形成的評価	6
	後期計 (14週)	後期計 84時間
⑤臨床実習協力者への施術	78	
⑥形成的評価	6	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期の学期末に、別途配布する『臨床実習評価ガイドライン』に基づき、2名の実習担当教官が評価を行い、その平均(小数点以下は切り捨て)を学期末評価とします。実習補助員2名は、評価に関する助言を行います。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	日頃から頭髪や爪の手入れ等身だしなみに留意し、実習では清潔な白衣上下を着用してください。実習開始前までに衛生的な手洗いを済ませ、ベッドにタオルシーツを敷く等の準備をしておいてください。	
自己学習の進め方	実習前日までに、担当する患者様のカルテを確認し、治療の方針・内容について担当教官の承諾を受け、施術に必要な予習をしておいてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧の歴史と理論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師として必要なあん摩マッサージ指圧の歴史と基礎及び理論について学びます。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧それぞれの歴史や方法を知り、説明できる。 基礎理論や治効理論及びリスク管理を理解し、実習に活用できる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	ガイダンス	1
	あん摩マッサージ指圧の意義と沿革	2
	あん摩の基本手技	5
	古法あん摩	4
	マッサージの基本手技	6
	あん摩マッサージ指圧に関連する治療法	6
	あん摩マッサージ指圧の臨床応用	4
	期末試験	3
	期末試験 講評	1
	後期計 (14週)	後期計 28時間
	リスク管理	6
	あん摩マッサージ指圧の治効の基礎	6
	あん摩マッサージ指圧の治療的作用	4
	あん摩マッサージ指圧の身体組織、器官への影響	5
	関連学説	6
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	基礎理療学Ⅲ(新版理療理論)(初版第2刷) オリエンス研究会 岡山ライトハウス 2025年	
参考書/参考資料		

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅうの歴史と理論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	鈴木 格・鳥丸 大地	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義(遠隔)	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり師、きゅう師として必要な鍼灸の基礎及び臨床能力並びに歴史について学び、施術を適切かつ効率的に行う能力と態度を修得する授業です。	
到達目標	以下の内容を理解して説明ができることを目標とします。 古代医学と現在の刺法・灸法、リスク管理、鍼灸刺激と伝導・自律神経反射・鍼鎮痛機序、関連学説	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	1 鍼の基礎と歴史 2 基本的な刺鍼方法 3 特殊鍼法 4 灸の基礎 5 灸法の種類 6 鍼灸の臨床応用 7 リスク管理 8 期末試験(筆記試験) 9 期末試験の解答解説	4 3 4 6 4 6 4 1
授業計画	後期計 (14週)	後期計 28時間
	10 鍼灸の治効理論 11 関連学説 12 期末試験(筆記試験) 13 期末試験の解答解説 14 国家試験対策	12 12 1 3
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許
	あはき施術所での施術経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけでなく、東洋医学的・西洋医学的な意味を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。	
使用教科書	基礎理療学Ⅲ(新版理療理論)(初版第2刷) オリエンス研究会 岡山ライハウス 2025年	
参考書/参考資料	配布資料	

令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	課題研究	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験に必要な解剖学・生理学に関する知識を再確認し、問題演習を行います。	
到達目標	(1) 解剖学・生理学の国家試験頻出問題を解くことができる。 (2) 基礎科目の知識を活用し、臨床医学総論や臨床医学各論といった応用科目の関連問題を解くことができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 16時間
	別紙	
	後期計 (14週)	後期計 14時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	使用する国試過去問は、その正答のみならず、問題全体の解説をできるように取り組んでください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。	
使用教科書	配付資料	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版16刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄ほか 医歯薬出版 2022年 盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版 10刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・佐藤優子ほか 医歯薬出版 2023年	

(別紙) 令和7年度 授業計画書(シラバス)

科目名	課題研究	
前期の授業計画	前期計 (16週)	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	解剖学 1 総論	1
	解剖学 2 骨格系	2
	解剖学 3 筋系	2
	解剖学 4 消化器系	1
	解剖学 5 呼吸器系	1
	解剖学 6 泌尿器系	1
	解剖学 7 生殖器系	1
	解剖学 8 内分泌系	1
	解剖学 9 循環器系	2
	解剖学 10 神経系	2
	解剖学 11 感覚器系	1
後期の授業計画	後期計 (14週)	後期計 14時間
	生理学 1 生理学の基礎	1
	生理学 2 循環	1
	生理学 3 呼吸	1
	生理学 4 消化と吸収	1
	生理学 5 代謝	1
	生理学 6 体温	1
	生理学 7 排泄	1
	生理学 8 内分泌	1
	生理学 9 生殖・成長と老化	1
	生理学 10 神経	1
	生理学 11 筋	1
	生理学 12 運動	1
	生理学 13 感覚	1
	生理学 14 生体の防御機構	1